

第26回「戦争と医の倫理」の検証を進める会 世話人会（議事概要）

- ◇日時 2013年7月21日(日) 13:00～16:00
◇場所 東京・全日本民医連8階会議室
◇参加者 赤羽根巖、石川徹、西山勝夫／各代表世話人、蒔昭三、肥田泰、山口研一郎、吉中丈志／各常任世話人、住江憲勇事務局長、岡田朝志、刈田啓史郎、南典男、村林彰／各世話人
(事務局) 原文夫、木村徳秀、宇都宮勉、小林耕治、徳山通／各氏、

◇議長 石川代表世話人

◇報告及び協議事項

1. 南典男世話人の紹介等について

- ・南世話人より中国に対する戦争犯罪を扱っている弁護士ネットワークがあり、その幹事をされているとの自己紹介があった。

2. 井上英夫顧問（前金沢大学教授・現名誉教授）近況報告・（6/8退職記念講演会）

- ・井上顧問が金沢大学を定年退職され、「退職記念論文集」を作成準備されているとの報告が事務局よりあった。

3. 第25回世話人会（13.3.20）会議報告の確認について

- ・承認された。

4. この間の主な活動と今後の対応について

（1）次期医学会総会での企画実現に向けた要請について（独自企画準備を含む）

- ①井村第29回日本医学会総会会頭へ要請書提出（13/4/12付）した以降の動き
- ②井村会頭、副会頭、各委員会委員長への企画検討の要請書提出（13/4/18）
- ③横倉日本医師会会長への要請書（12/12/25付）提出以降の動き
- ④酒井シズ日本医史学会理事長へ懇談要請（13/1/23）懇談の要点（13/3/28）
- ⑤医学会総会中村事務局長と面談要請結果（13/4/22）

- ・以上について事務局から概要報告があった。
- ・日医については日医雑誌に731部隊の総括が必要ではないかとの記事も出ており、ぜひ懇談すべきとの意見があった。医学会だけでなく日弁連と会の協力も今後検討すべきとの意見があった。

⑥医学会総会中村事務局長からの口頭回答（13/7/16）

- ・7月16日に事務局が中村事務局長に電話して、回答を受けた。医学会総会は外国の出演者は受け入れていない。展示企画については、組み入れる必要があるとの認識で検討中である。進める会として独自に企画を行うことは何ら差し支えない、とのことだった。

⑦吉中常任世話人からの報告（医学会総会の状況と京都府保険医協会理事として）

【京都府保険医協会垣田理事長宛の「戦争と医の倫理」に関する今後の活動でのお願い（13/6/1付）に対する回答】

- ・吉中常任世話人より、医学会展示委員会は進める会の提案を拒絶している訳ではない。

医学会総会は日医から離れて社団法人となるので、盛大な医学会総会は2015年が最後になるかもしれないとのことだ。

京都協会の理事になった。15年の催しに取り組む方向で協会として動き始めている。07年の大阪での医学会総会の時のように近畿ブロックの実行委員会形式が望ましい。事務局は京都協会が取り組む方向だ。垣田理事長としては府医師会にも話をし、協力いただきたいが、だめな場合は協会だけで取り組みたい。京都としてのお願いは財政面で支えていただきたいことだ。

⑧保団連近畿ブロックとしての準備対応（8/5-6 ブロック事務局長会議）

- ・吉中常任世話人より、8月5~6日と保団連近畿ブロック事務局長会議がある。この場で近畿の協会の協力をあおぎたいとの説明があった。事務局より、この会議には保団連の中事務局長が参加して概要を説明することになっているとの報告があった。

（独自企画準備）

①シュナイダー前 DGPPN 会長招請企画（2015年4月10~13日来日承諾）。ドイツ医師会関係者の講演の検討。DGPPN 作成パネルの展示。西山代表世話人の9月訪独

②上記、ドイツ関連企画を含む日程と会場確保

③現地実行委員会の立ち上げ

（役員候補 2007年「戦争と医学」展実行委員会メンバーを加え関西出身世話人で構成）

④近畿の協力体制確保（保険医協会、民医連、科学者会議、医学連等）

⑤実行委員会の開催よびかけ、日程、会場

⑥実行委員会としての2014年の近畿（京都）でのパネル展示企画

⑦賛同募金のよびかけ

- ・以上について事務局から説明があった。
- ・現地実行委員会と進める会の関係については、進める会が決めて実行委が執行するという関係ではなく、互いに協力しながら進めていく。よって会の独自企画についても会が決めてしまうのではなく、実行委と協力してこれから決めていくものとする。実行委は早く立ち上げる必要があるので、事務局で早急に具体化を図る。必要であれば準備委員会を作ってもよい。（西山代表世話人の訪独は見送りとなった）
- ・実行委の立ち上げの訴え文は進める会で作る。

（2）国際シンポジウム・パネル展示以降の課題について

①パネルの貸し出し普及用の作成。印刷、パウチ加工見積等

- ・250枚作成で7万4000円強の(株)アクセアに発注することになった。

②貸出規定の整備等(案)

- ・案にある貸し出し料は、利用を促進する立場から半額とする。

③8/31~9/1 日本看護歴史学会第27回学術集会（京都府立医大）に際して貸出展示（30枚程度予定）「パネル集」等も普及販売

- ・8月31日~9月1日に京都府立医科大学で学術集会を行うので、パネルを貸し出す。

（3）パネル集の翻訳版の作業準備状況について

①英語版→小島常任世話人が翻訳され、それに西山代表世話人の意見を反映した翻訳文に松村世話人を通じ英国人（Mason教授）が校閲。校閲謝礼として3万円を支

払う。英語版の組版作業は東北大学の窪准教授に依頼する。

- ②ドイツ語版→東北大学の窪准教授が翻訳中で、校閲も含めて作業中。完成間近。
- ③中国語版→張健華氏に依頼していたが多忙で翻訳は半分までとなったので、残り半分をABC企画共同代表の田中寛大東文化大学教授に依頼。研究生張麗氏が翻訳。張麗氏の作業は進んだが、張健華氏の作業の残りが進んでいない。張健華氏はあきらめ、張麗氏に頼むこととする。
- ④朝鮮語版→滋賀医大に留学していた任氏、チェ氏が監訳し、朝鮮語に熟達の日本人に翻訳組版作業依頼中。韓国での出版も検討（出版契約を要す。当会による三恵社版とは別）

(4) 「日本の科学者」8月号「特集」について

- ①世話人会等4人の執筆者（バスティアン氏、刈田氏、サーラ氏、西山氏）が執筆した号を配布した。

(5) マスコミの取材要請への対応について

- ①北海道新聞が8月終戦の日特集で企画。吉中常任世話人が8月1日18時半より民医連で取材を受ける。
- ②NHK テレビが近藤昭二世話人に取材済み。「金子順一論文」の評価含めさらに当会関係者に取材要請があった。

(6) 「731部隊展2013」での協同の取り組みの要請

- ①南典男世話人より731部隊展2013を明治大学生田キャンパス、駿河台キャンパスで行うので協力をいただきたいとの話があり、パネルの貸し出し等で協力していくこととなった。
- ②西山代表世話人より、731、遺棄毒ガス被害など関係者による円卓会議の開催私案が出され、南世話人よりできるだけ多くの会に事前に声をかけて共同の呼びかけで始めてはどうかとの提案があった。

5. 今後の世話人会開催予定、その他

- (1) 次回開催予定 12月8日(日) (→12月15日(日) 関西の予定で変更調整中)
- (2) 「戦医研」731部隊遺跡を巡る旅(9/3~9/7) ABC企画第18回旧日本軍による侵略の爪痕を検証するツアー(ハルビン、ジャムス)(9/1~9/8日)の参加募集があった。
- (3) 山口常任世話人より現代医療を考える会(7/27)案内、近著の紹介があった。
- (4) 住江事務局長より731部隊遺跡等を巡るツアー報告(全国保険医新聞6/5)の説明があった。
- (5) 南世話人より敦化遺棄毒ガス被害事件裁判報告集会(7/16)の案内があった。
- (6) 大東文化大田中寛教授より著書贈呈「戦争遺跡と歴史認識ー『731部隊』遺跡保存活動を通して私が学んだことー」大東文化大学紀51号、『ハルビン残照「七三一」の記憶』(私家版)『戦争記憶と歴史認識』(私家版)があったとの説明あり。
- (7) その他
 - ・実行委の財政面を支える面からも、進める会の財政基盤を強化する必要があるのではとの意見が出された。

以上